

「普遍性と特殊性」～ 個性に輝く ～

沖縄県看護協会主催の緩和ケア認定看護師教育課程「公開講座」で、講演『全人的苦悩に向き合う力 プレゼンス・真の共感とは「ことばの処方箋」』（沖縄に於いて）の機会が与えられた。講演の中で、『「日本国のあるべき姿」としての「日本肝臓論」』も、さりげなく語った。肝臓は、「正常な時には、静止状態にある。しかし いざという時には再生能力抜群で、3分の2を切っても2週間で元通りになる。異物に対しては寛容性をもつ。また解毒代謝作用がある。さらに血中を流れている たんぱくの80%は肝臓で作られている」と言われている。日本国も肝臓のような国になれば、世界から尊敬されるという趣旨である。

人間の身体と 臓器、組織、細胞の役割分担と お互いの非連続性の中の連続性、そして、障害時における全体的な「いたわり」の理解は、世界、国家、民族、人間の在り方への深い洞察へと誘うのであろう。かつて、新渡戸稲造は国際連盟事務次長時代に、「知的協力委員会」を構成し知的対話を行った。そのメンバー中には、当時の最高の頭脳を代表するアインシュタイン、キュリー夫人もいたことは特記すべきことである。今こそ国際貢献として、「21世紀の知的協力委員会」の再興の時である。「普遍性と特殊性」の見本でもあろう。

樋野興夫

新渡戸稲造記念センター 長

順天堂大学名誉教授/ 順天堂大学医学部病理・腫瘍学 客員教授

「競争的環境の中で個性に輝く5箇条」

- (1) 『複雑な問題を焦点を絞り単純化する』
- (2) 『自らの強みを基盤にする』
- (3) 『無くてならないものは多くない』
- (4) 『無くてよいものに縛られるな』
- (5) 『Red herring に気をつけよ』

今年、5周年の「東村山がん哲学外来メディカル・カフェ」の代表 大弥佳寿子 氏、3周年の「目白がん哲学外来カフェ」の代表 森尚子 氏、2周年の「松本がん哲学みずたまカフェ」の代表 齋藤智恵美 氏の3人で、「宇宙からの3姉妹」が 結成される運びとなった。大弥佳寿子 氏は、月（太陽の光を映し出す）、森尚子 氏は、木星（神々の王）、齋藤智恵美 氏は、土星（地を耕す）とのことである。まさに「冗談を本気とする胆力」の実践ではなからうか！

実践の3項目

- 1) 「ほっとけ、気にするな！」の実践（大弥佳寿子 氏）
- 2) 『「あれも、これも」でなく、「これしかない」』の実戦（森尚子 氏）
- 3) 「謙遜と大胆」の実践（齋藤智恵美 氏）

「松本がん哲学みずたまカフェ2周年を迎えて」

松本がん哲学みずたまカフェ 齋藤智恵美

私が「がん哲学」に出会ったのは、2017年1月21日(土)のことでした。佐久総合病院の荻原菜緒医師が自宅で月に一回開催している「軽井沢あうんの家」へと初めて足を運んだその日は、寒いながらもお日様が顔を見せていました。グッと冷え込んだ朝のキラキラと輝く樹氷に包まれた軽井沢の道はとても神秘的だったのを覚えています。そこから歩み始めたがん哲学を学び、感じる日々。この出会いがなければ「松本がん哲学みずたまカフェ」の存在も、この2年間の歩みもなかったと思う出会いそのものが祝福だったように思われます。樋野興夫先生が「謙遜と大胆」と私の事を表現して下さることがありますが、この2年間を思い返しても、応援され、見守られ、時に背中をドーンと押されている私にとって、大胆にならないこと、自力だと思ふことの方が難しいのだと思います。一貫性を持ちながら変化し続けるがん哲学と樋野先生の存在は、言葉を超えてそこに集う人たちの変化をも促しています。変化を許容するだけの丈夫な空っぽの器を作ることが、メディカル・カフェの活動を担う私の役割であり、使命です。

「目白がん哲学外来3周年記念会」

目白がん哲学外来カフェ 森尚子

8月28日、目白3周年記念会を無事に迎え、終える事が出来ました。ひとえに、目白カフェという「空っぽの器」に、毎回、たくさんの方々があふれんばかりの想い、涙、愛を入れて下さったからです。スタッフ一同、底が抜けぬよう益々頑丈にしていまいます。初心忘れるべからず!! 無邪気に一生懸命、小さな事に大きな愛を込めていく所存です。これからも、宜しくお願ひいたします。

目白3周年の日、教会の掲示板には“絶望では終わらない”の言葉がありました。

終わらないです。絶望の隣には必ず『希望』があるから。

2020年1月18日(土)、東京都豊島区 豊島区民センター多目的ホールにて「がんと生きる 言葉の処方箋」上映が決まりました。

たくさんの方々に観ていただきたいと思います。

「東村山がん哲学外来メディカル・カフェ5周年を迎えて」

東村山がん哲学外来メディカル・カフェ 大弥佳寿子

8月25日の「東村山がん哲学外来メディカル・カフェ5周年記念会」で、ドキュメンタリー映画「がんと生きる 言葉の処方箋」を上映し、樋野先生と松本からいらして下さった齋藤智恵美さんのトークショー、その後、メディカル・カフェを開催しました。

多くの方々と共にこの日を迎えられ、「良き師、良き友、良き読書との出会い」に感謝でした。今後も変わらずにカフェを継続して参ります。

さて、「宇宙からの3姉妹」を拝命し、「ほっとけ、気にするな！」の実践は容易ではありませんが、自分という車の運転席から走る行程（人生）を眺めるのではなく、空（宇宙）から自分の車を眺めるような視点をもって、冗談を本気とする胆力を研いで参りたいものです。

「越冬隊友の会」連絡先: 副会長 大弥佳寿子
TEL042-395-2140 kzoya@aa.bb-east.ne.jp
後援: 一般社団法人がん哲学外来
<http://www.gantetsugaku.org/>